

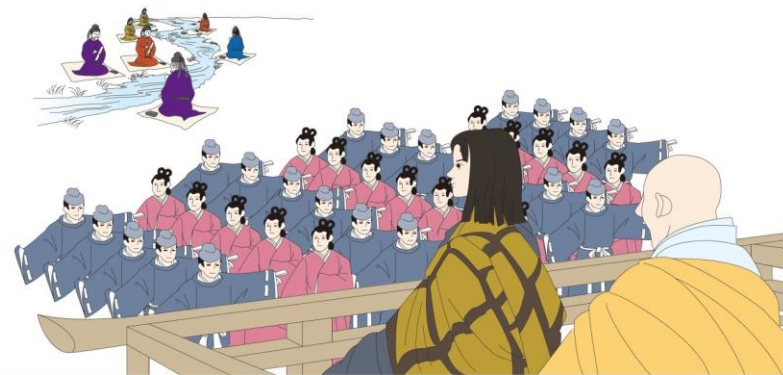
由義寺跡シンポジウム2023
令和5年12月17日

下層基壇から上層基壇（由義寺塔）へ バージョンアップ

河村 卓（八尾市観光・文化財課）

目次

1. 由義寺について
2. これまでの調査でわかったこと
3. 令和5年度の発掘調査でわかったこと
4. まとめ



1. 由義寺について

- 奈良時代後半（8世紀後半）に建てられた寺院
- 称徳天皇により造営が進められた寺院として『続日本紀』^{しよくにほんぎ}に記載がある

『続日本紀』神護景雲4（770）年の条

詔して由義寺の塔を造る諸司の人及び雑工等九十五人に、労の軽重に随い、位階を加え賜う。

- 僧 道鏡の出身氏族である弓削^{ゆげし}氏の氏寺^{うじでら}〈弓削寺〉を由義宮・西京^{さいきょう}の造営に合わせて改称、発展させたと考えられる
- 平成29年の発掘調査で一辺約20mの塔基壇が確認された

塔の基壇（土台）



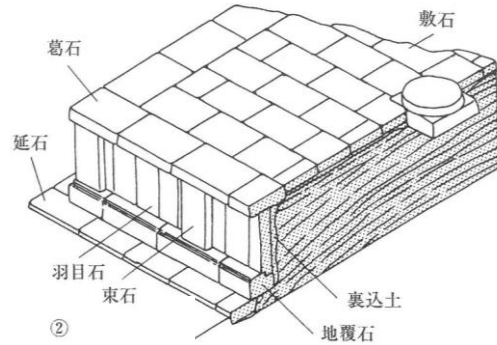
法隆寺五重塔



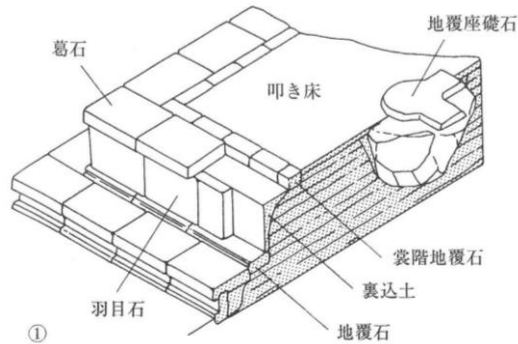
基壇

基壇外装

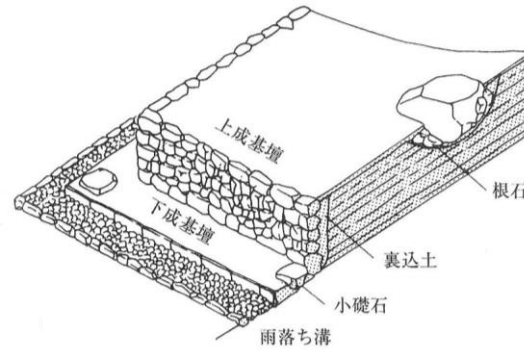
●基壇の装飾、風雨から土壇を保護する



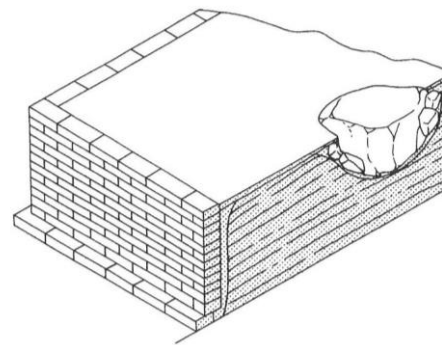
だんじょうづみ
壇正積基壇



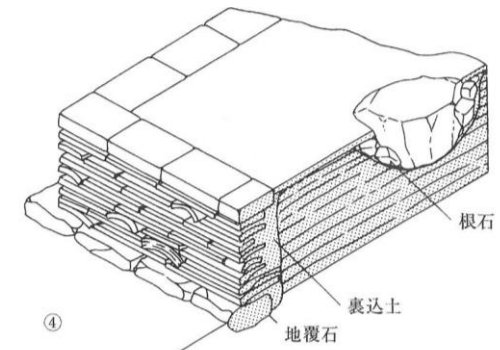
切石積基壇



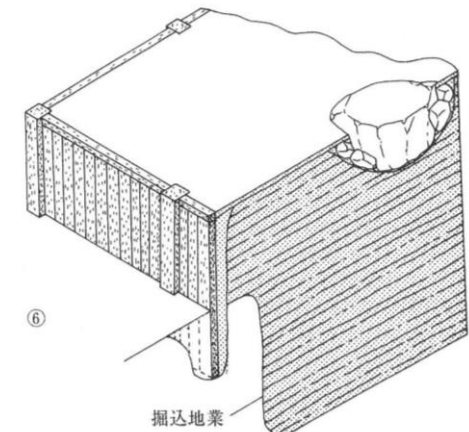
らんせき
乱石積基壇



せん
塼積基壇



瓦積基壇



木造基壇



出典：『河内古代寺院巡礼』

河内国分寺跡（柏原市） 壇正積基壇



出典：『河内古代寺院巡礼』

東塔 塼積基壇



出典：『河内古代寺院巡礼』

西塔 瓦積基壇

田辺廃寺（柏原市）

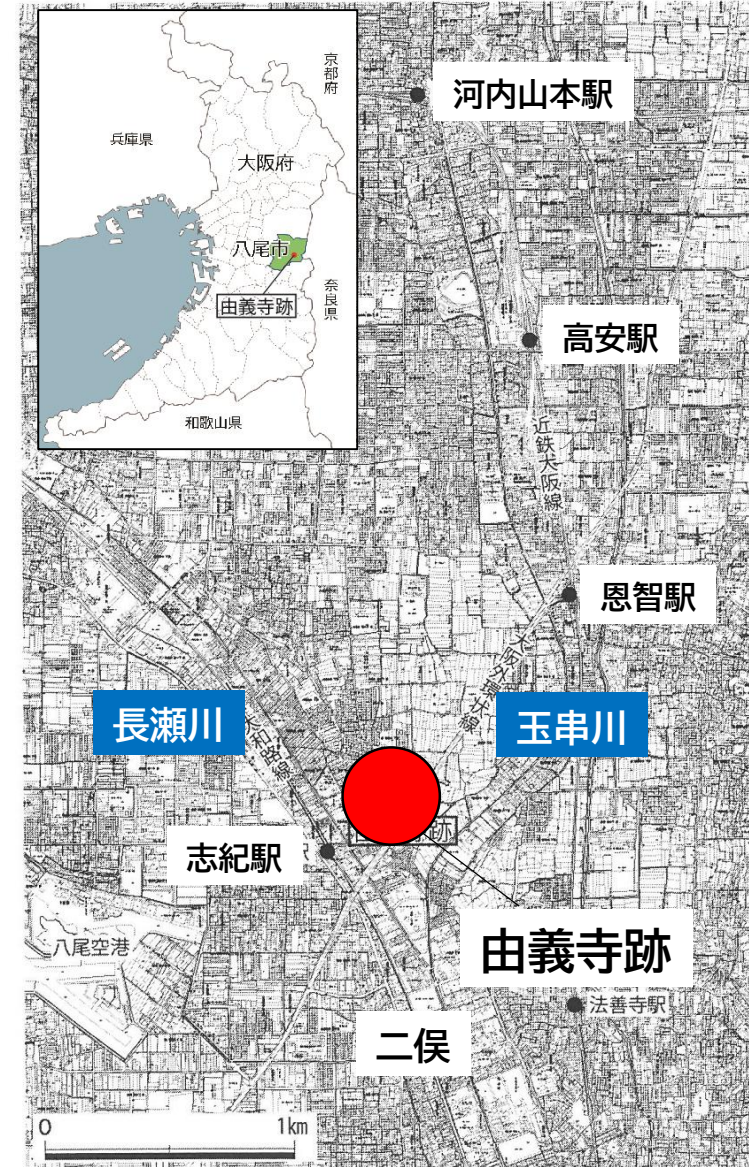


出典：『西安寺跡発掘調査報告書一船戸神社境内編一』

西安寺跡 塔（王寺町） 乱石積基壇

由義寺跡の位置

- 八尾市東弓削を中心とした地域に位置する
- 生駒山地西側を流れる旧大和川が二俣^{ちゅうせきち}で東西に分流した長瀬川と玉串川に挟まれた沖積地上にある



由義寺跡周辺の字名



●由義寺跡一帯には「大門」「古宮」「北口」「古屋敷」「堂ノ後」などの字名が残る

2. これまでの調査でわかったこと

年	調査原因	わかったこと
昭和50～51年	府水道布設工事	古代瓦が出土
平成28年	区画整理事業	奈良時代の瓦が大量に出土
平成29年	重要遺跡の遺構確認調査	<u>塔基壇を確認</u>

平成30年2月 「由義寺跡」として国史跡に指定される

平成30年	史跡整備に向けた調査	塔基壇北西隅・南西隅を確認
令和2年	//	史跡指定地北東で瓦だまりを確認
令和3年	//	瓦だまりの広がり、塔基壇南側を確認 基壇規模一辺21.6mに復元
令和4年	//	<u>塔基壇の下層で前身建物基壇（以下：「下層基壇」）を確認</u>
令和5年	//	<u>下層基壇が塔と判明した</u>

区画整理事業に伴う調査



区画整理事業に伴う調査地

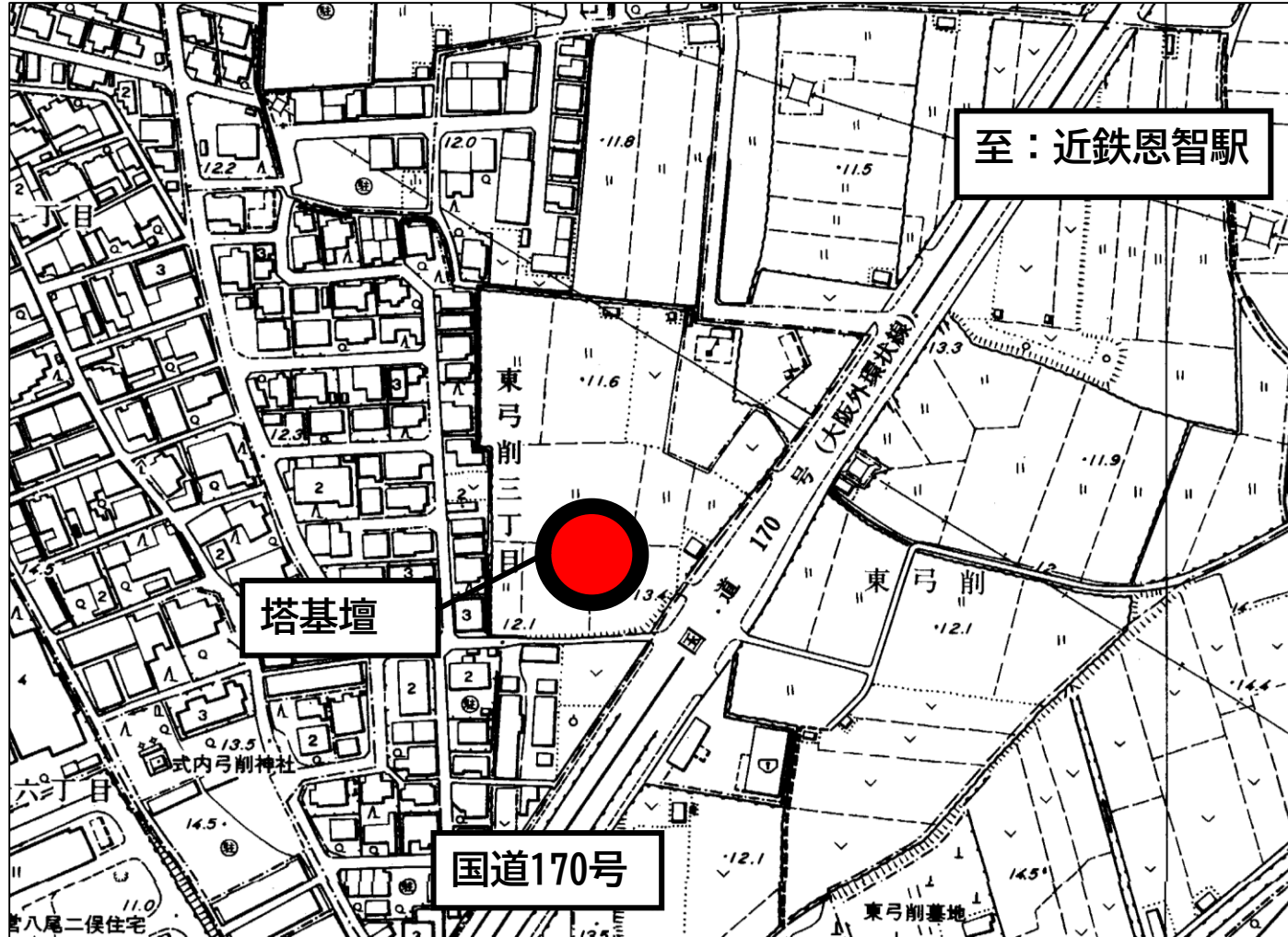


奈良時代の瓦



瓦を井戸枠に転用

塔基壇の確認（重要遺跡の遺構確認調査）



調査地の航空写真



基壇の北辺



四天柱とみられる礎石の一部



基壇版築層



礎石の一部



出典：『東大寺東塔院跡』

東大寺東塔

基壇の版築

●性質の異なる土を交互に突き固める



出典：『薬師寺東塔基壇』

突棒痕跡



出典：『薬師寺東塔基壇』

薬師寺東塔

瓦・鎮壇具



軒丸瓦



軒平瓦



出典：『蓮華の花咲く風景』

銭貨



さ は り わん
佐波理銃

建築部材



埴・鉄釘・凝灰岩製敷石

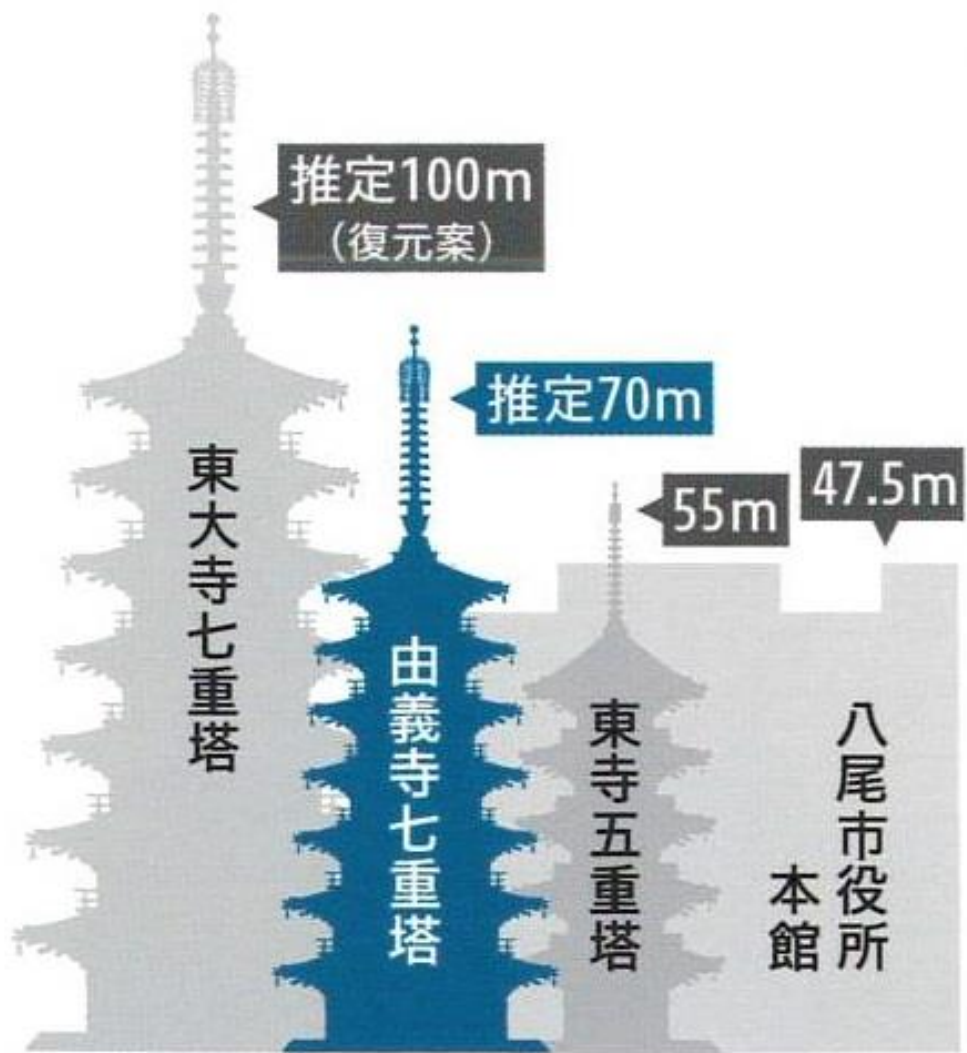


出典：『鳥坂寺再興』



出典：『鳥坂寺再興』

鳥坂寺（柏原市）講堂跡

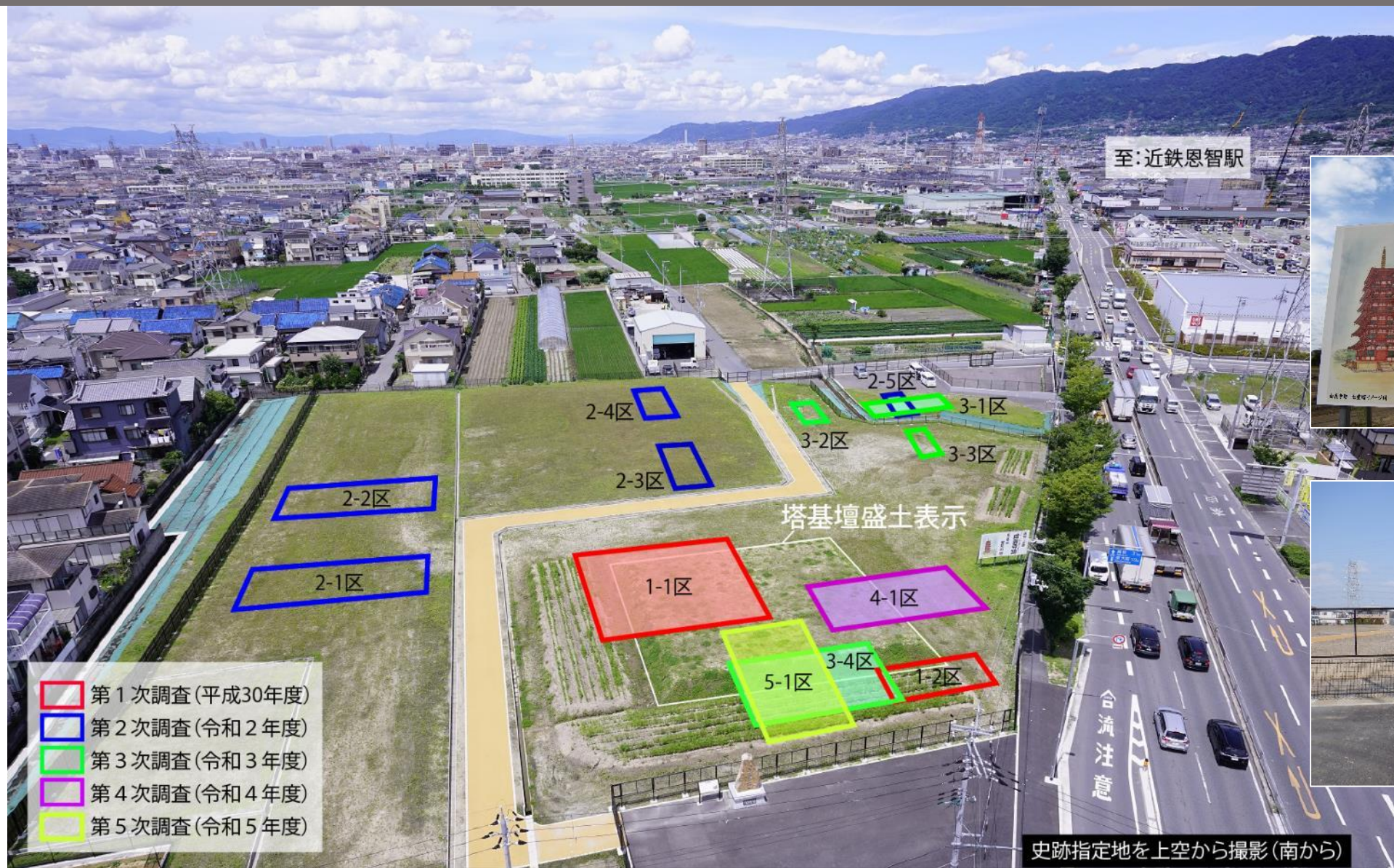


塔の高さ比較



七重塔のイメージ
(早川和子氏画)

史跡整備に向けた調査



塔基壇の調査

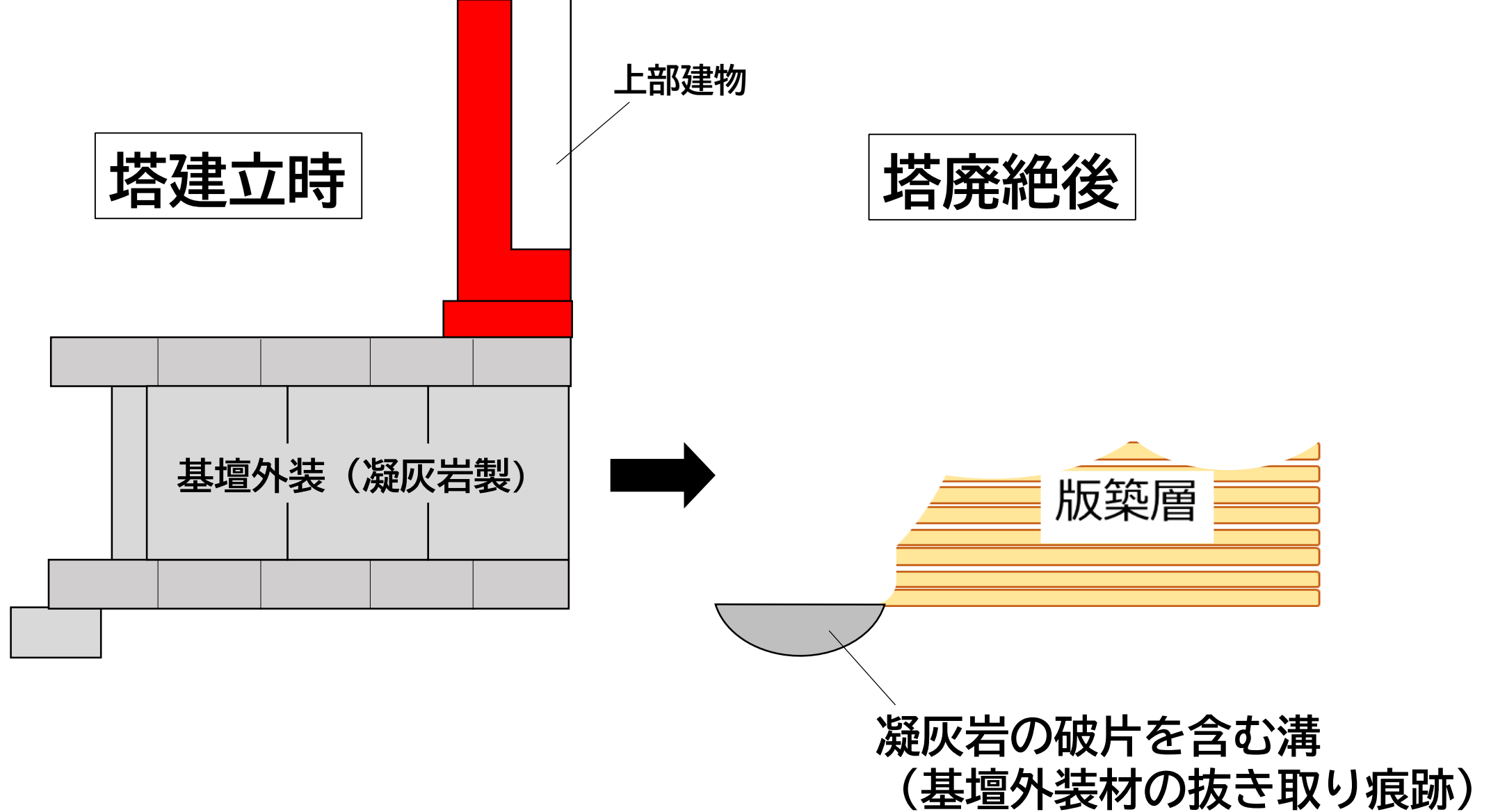


基壇北西隅

第1次調査（平成30年度）1-1区



基壇版築層



残存する基壇の模式図



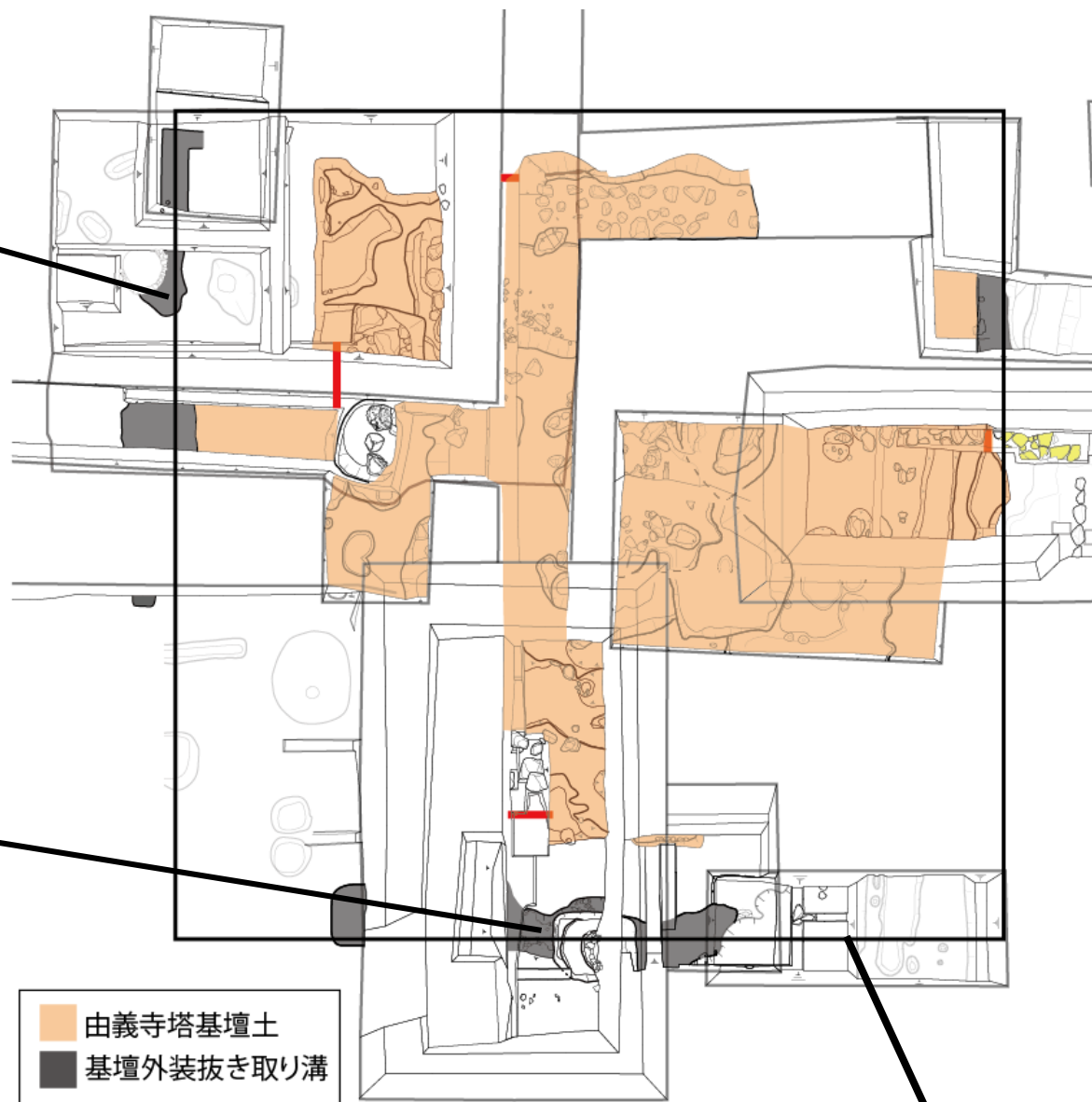
基壇西辺

第1次調査（平成30年度）1-1区



基壇南辺

第3次調査（令和3年度）3-4区



塔基壇一辺21.6m

下層基壇を確認



第4次調査（令和4年度）4-1区

上層基壇（由義寺塔）・整地層・下層基壇



下層確認のための断割り



下層基壇の版築層

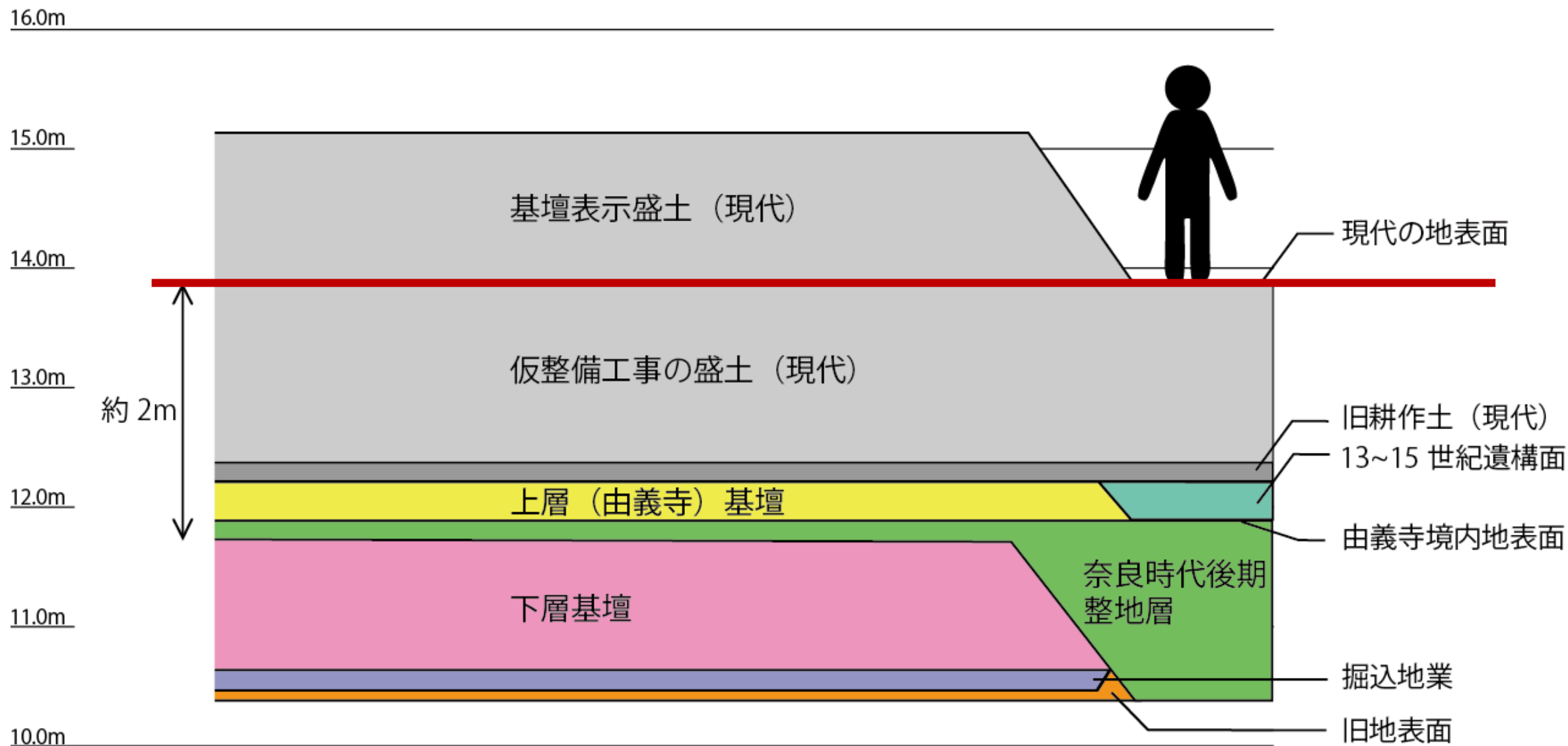


下層基壇版築層

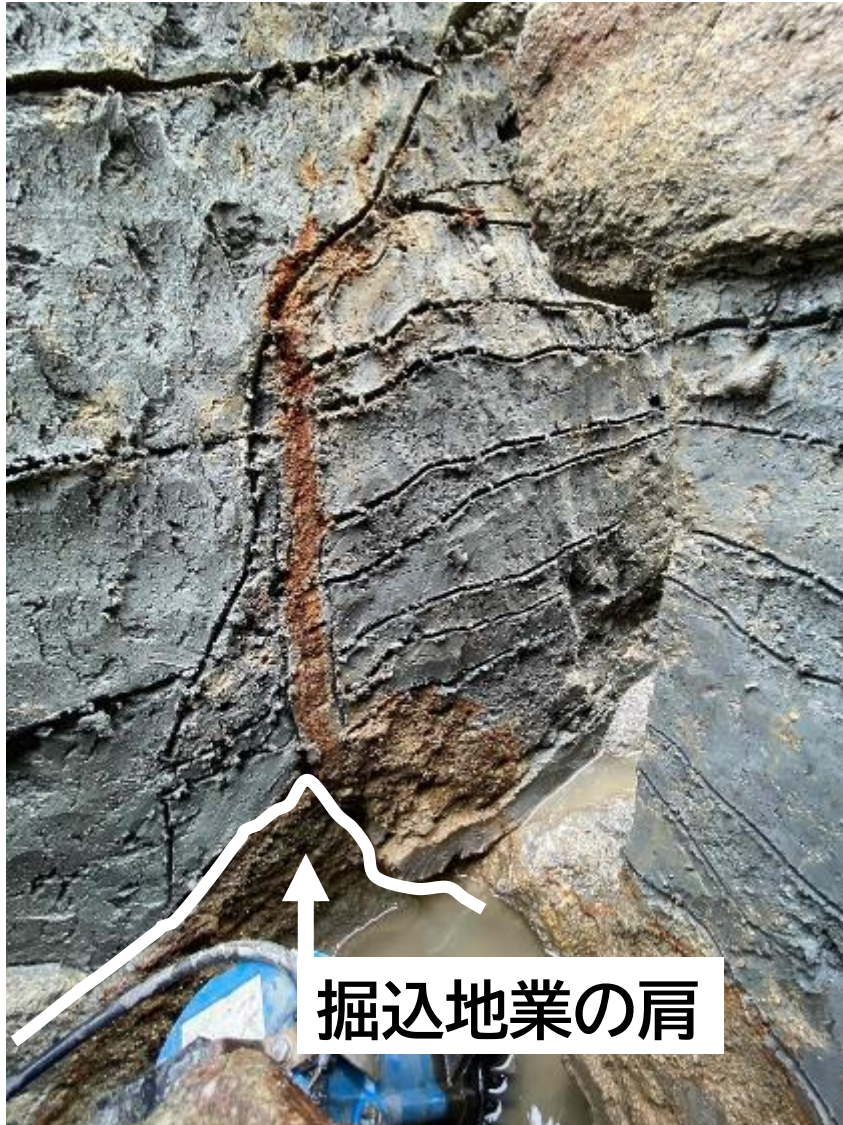


上層基壇（由義寺塔）版築層

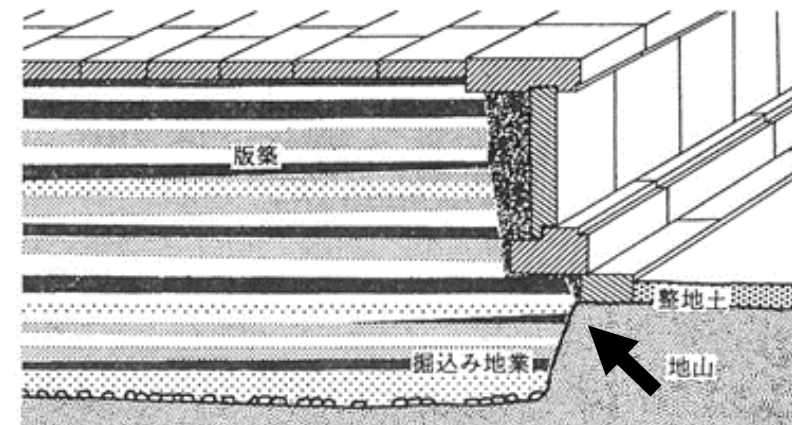
下層基壇が見つかった高さ



下層基壇の掘込地業（地盤改良）



20～50cmの石



出典：『文化財論叢Ⅳ』

掘込地業の模式図

北辺・西辺の掘込地業

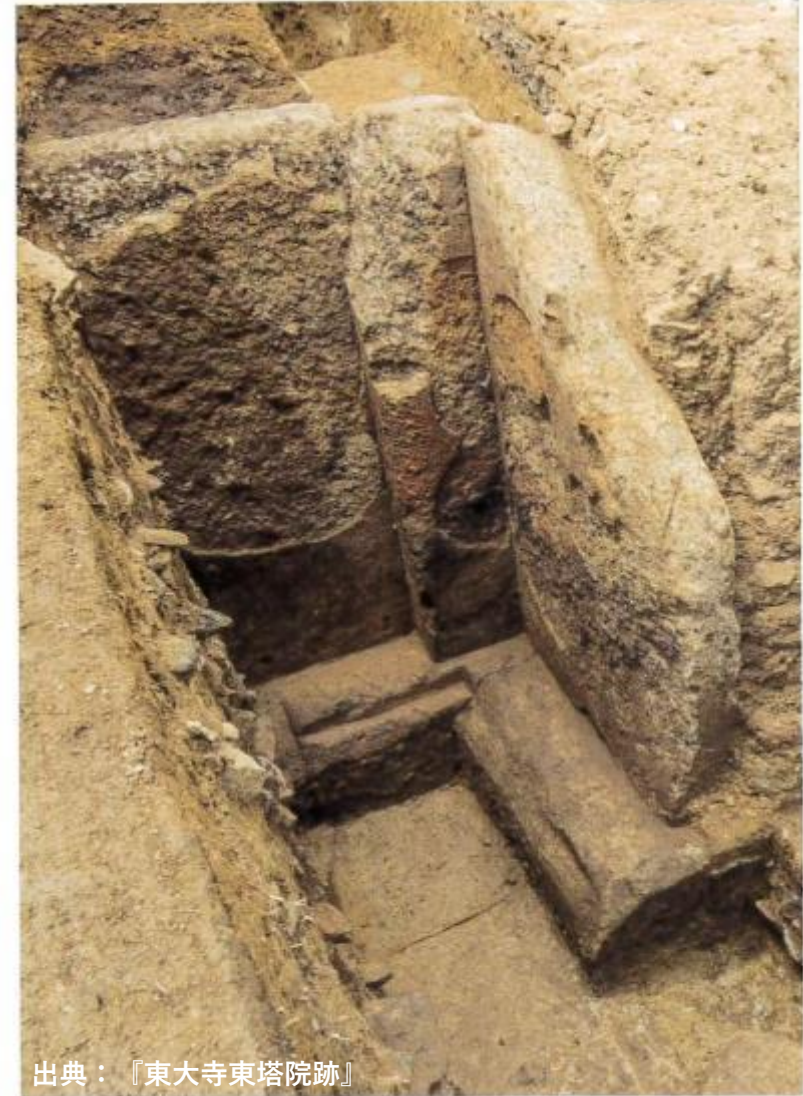


基壇北辺



基壇西辺

下層基壇の外側で出土した基壇外装材（凝灰岩）



東大寺東塔 東面階段

3. 令和5年度の発掘調査でわかったこと



調査地（基壇南側）



基壇外装の抜き取り痕跡



調査区全景



由義寺塔基壇土

整地層

下層基壇版築層

下層基壇掘込地業

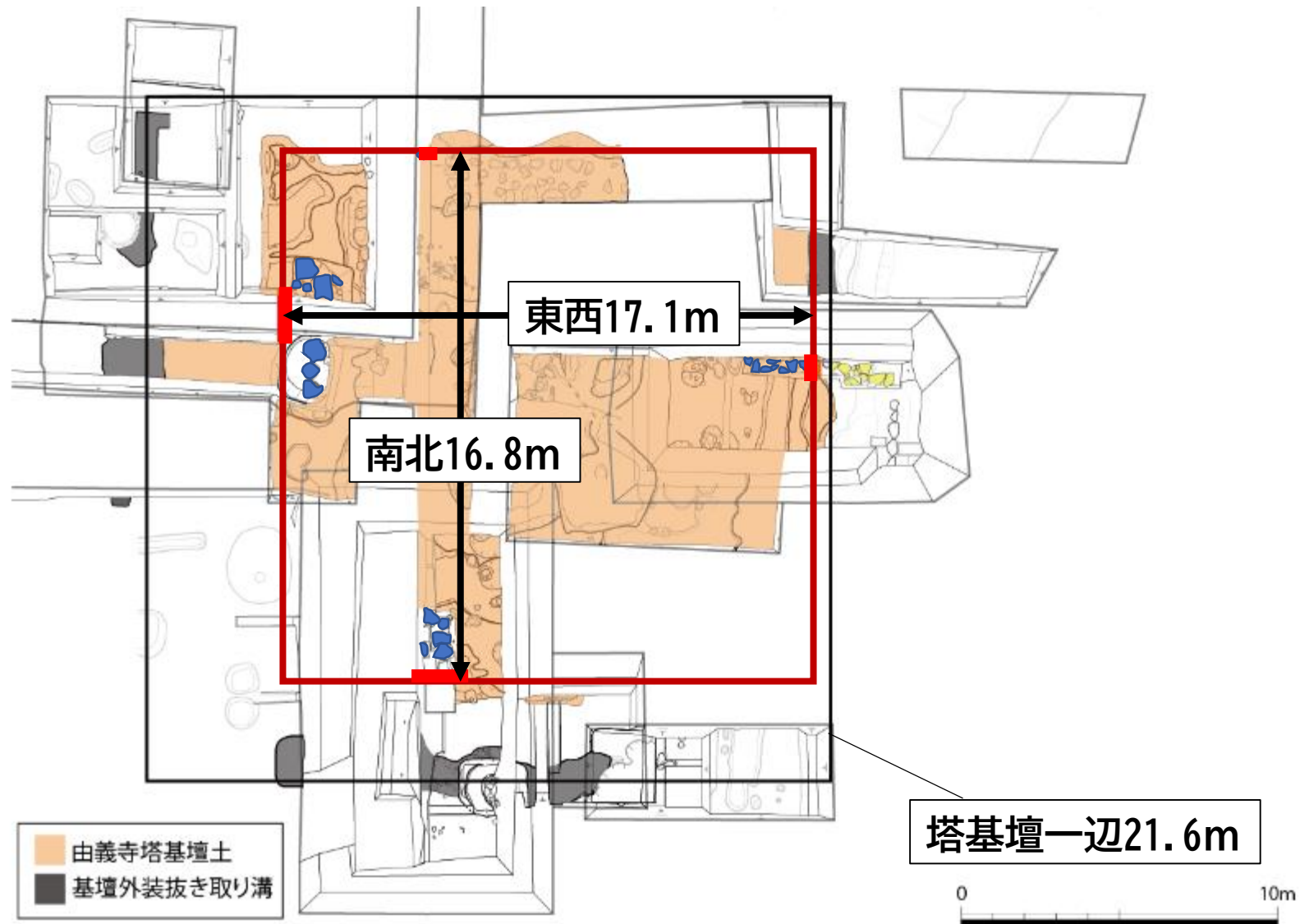


掘込地業の肩



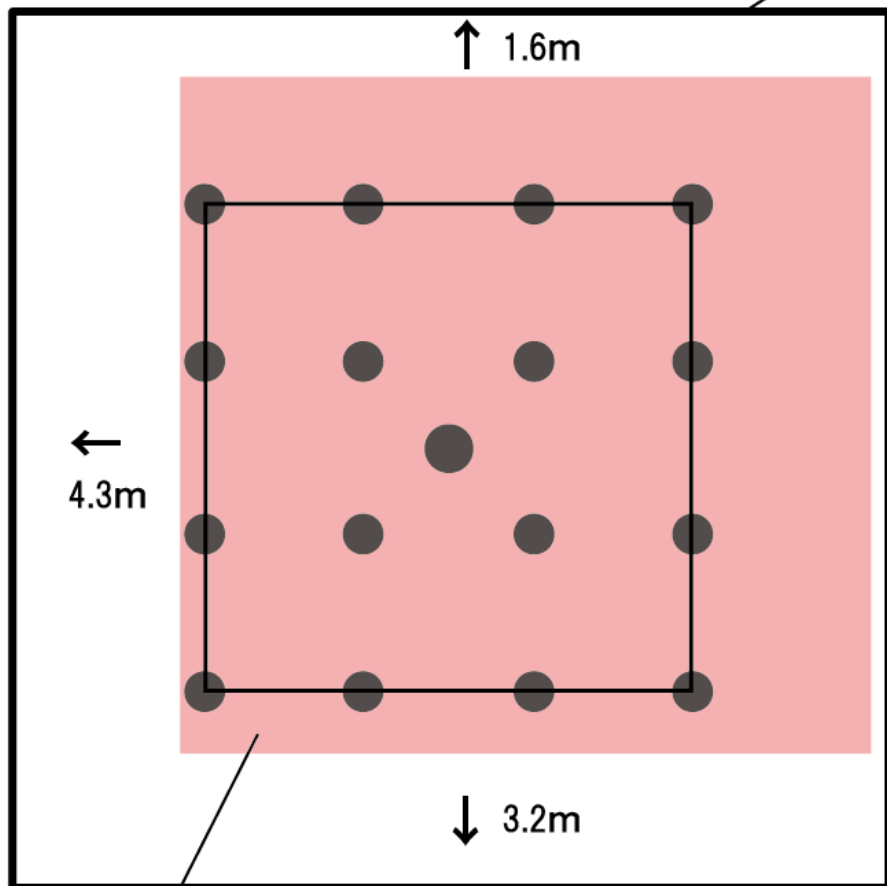
掘込地業内の石

下層基壇の規模



北

由義寺塔基壇の範囲一辺 21.6m

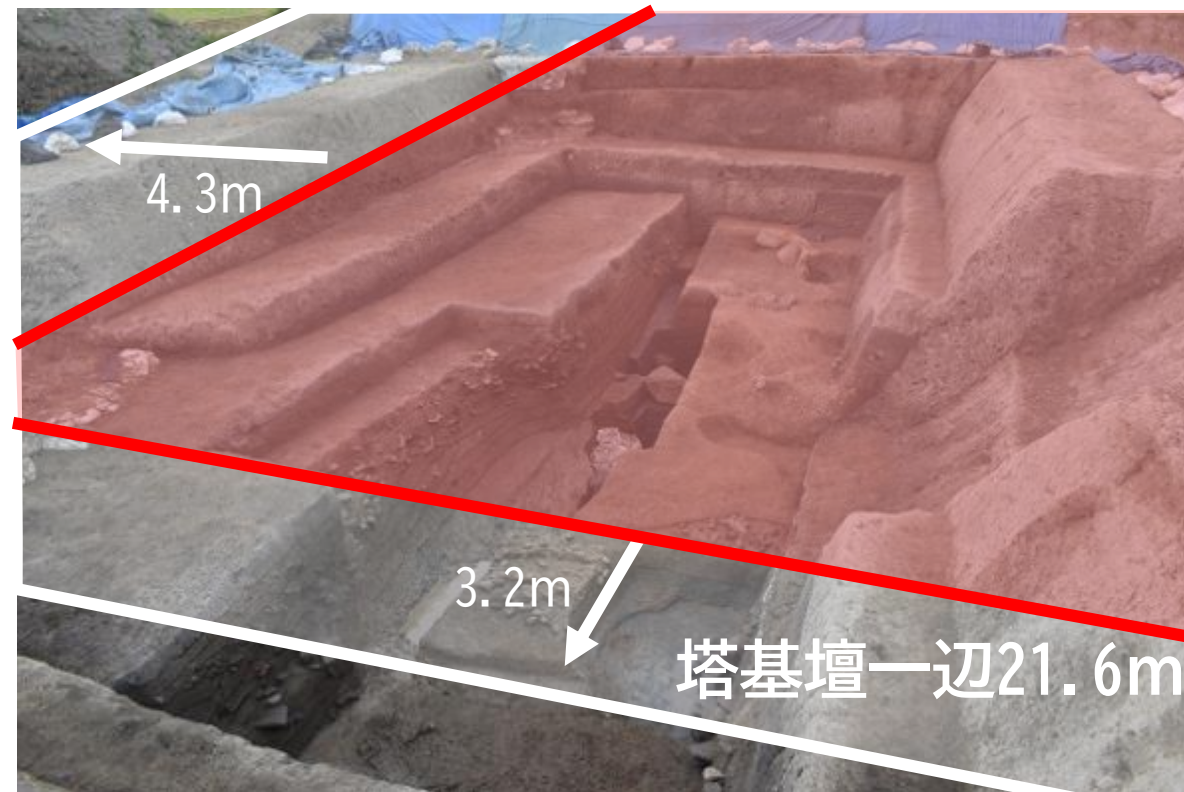


前身建物基壇（下層基壇）の範囲 東西 17.1m、南北 16.8m

※掘込地業の肩間

3.9m
4.2m
3.9m
由義寺塔復元柱間寸法

下層基壇一辺約17m



塔基壇一辺21.6m

●約1.3倍の大きさに拡張

由義寺塔基壇と下層基壇の位置関係

下層基壇の建立時期は？

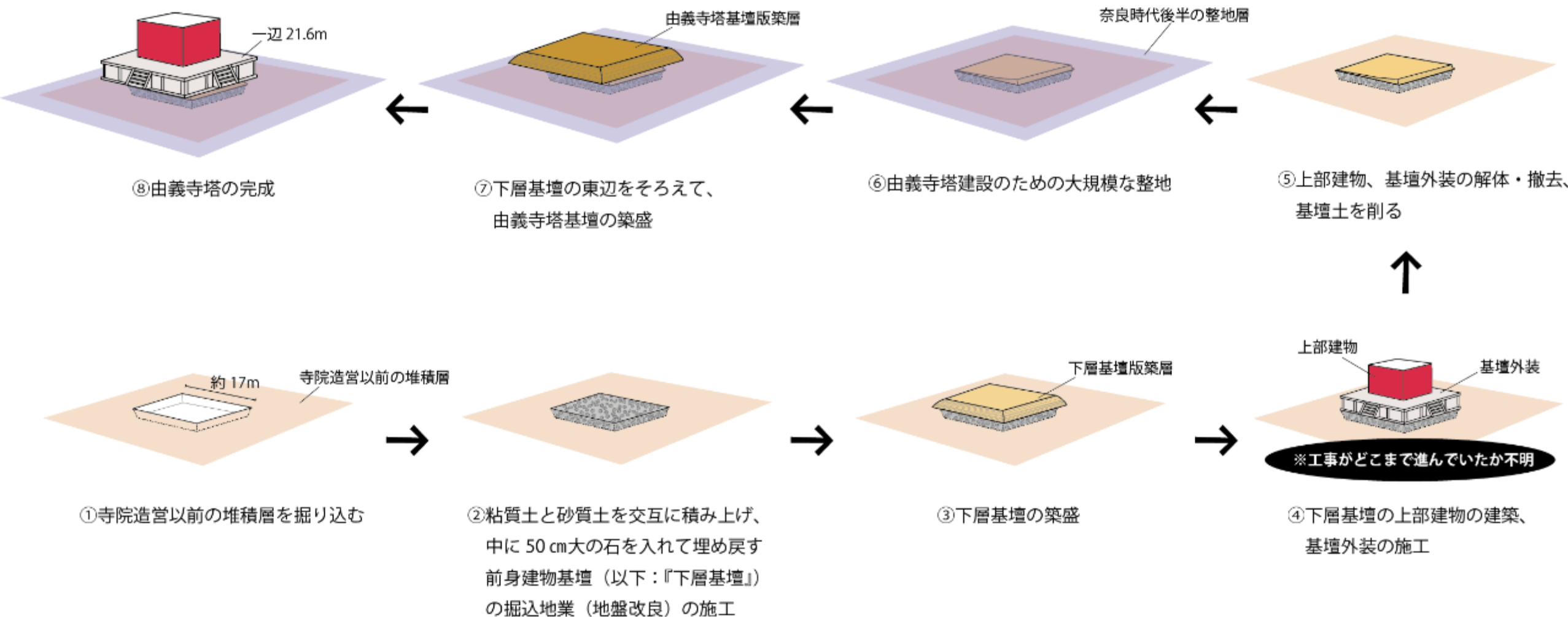
●考古資料

下層基壇版築層から 8 世紀中頃以降の平瓦が出土

●文献史料

西暦	年号	月	主な出来ごと
742	天平 14	12	弓削寺の僧 行聖が得度者を推挙する
761	天平宝字 5	10	保良宮（滋賀県大津市）に孝謙太上天皇が行幸し、看病にあたった道鏡を信頼する
<u>765</u>	天平神護元	10 ～ 閏 10	10 月 29 日 紀伊国への行幸の帰り、弓削行宮に入る 10 月 30 日 称徳天皇、 <u>弓削寺で仏を礼拝する</u> 閏 10 月 1 日 弓削寺に食封 200 戸、知識寺に 50 戸を施入する 閏 10 月 2 日 道鏡を太政大臣禅師に任じ、文武百官に拝賀させる / <u>弓削寺で仏を礼拝する</u> 閏 10 月 3 日 大県・若江郡の調・租を免じ、平城宮への帰途につく
766	天平神護 2	10	道鏡を法王とする
<u>769</u>	神護景雲 3	10 ～ 11	10 月 17 日 <u>称徳天皇、由義宮に行幸する</u>
<u>770</u>	神護景雲 4	2 ～ 4	4 月 5 日 <u>由義寺の塔の建設に伴い、諸司の人・雑工ら 95 人に位階をあたえる</u>

由義寺塔の構築過程の復元



西大寺との共通点

①計画変更

- 西大寺 東西塔八角形基壇（七重塔）→ 方形基壇（五重塔）
- 由義寺 下層基壇（五重塔？）→ 上層基壇（七重塔）



東塔

西大寺（奈良市）



西塔

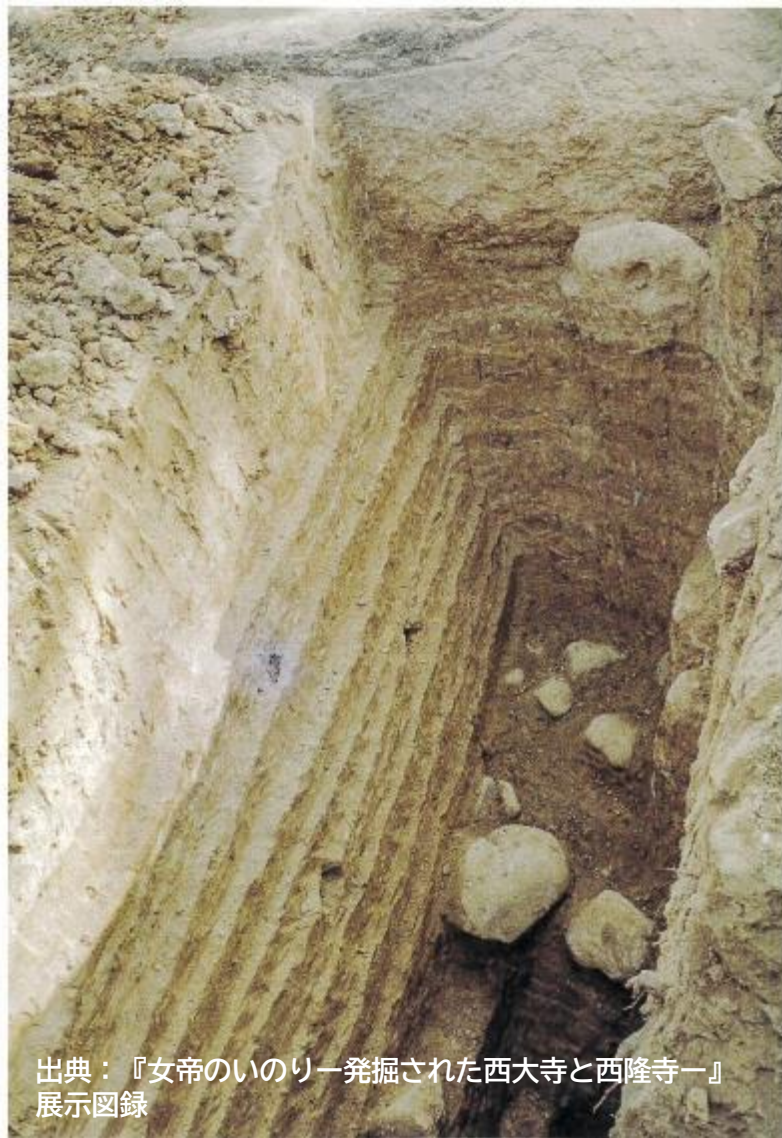
8世紀後半

②基壇構築方法



9 西大寺東塔基壇断ち割り状況

出典：『日本古寺美術全集6』



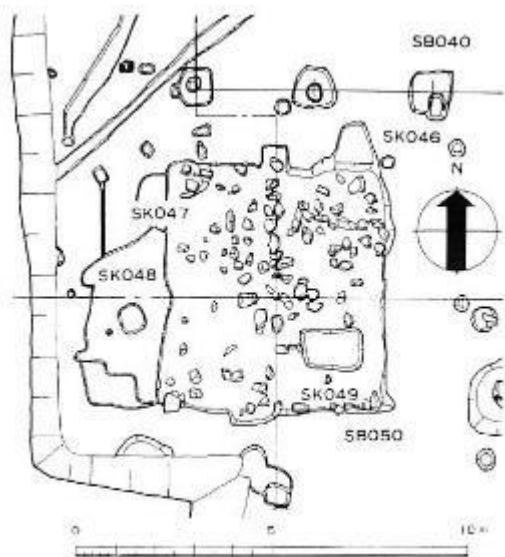
出典：『女帝のいのりー発掘された西大寺と西隆寺ー』
展示図録

西大寺 東塔



由義寺 下層基壇

掘込地業に石を入れる例



出典：『女帝のいのりー発掘された西大寺と西隆寺ー』展示図録



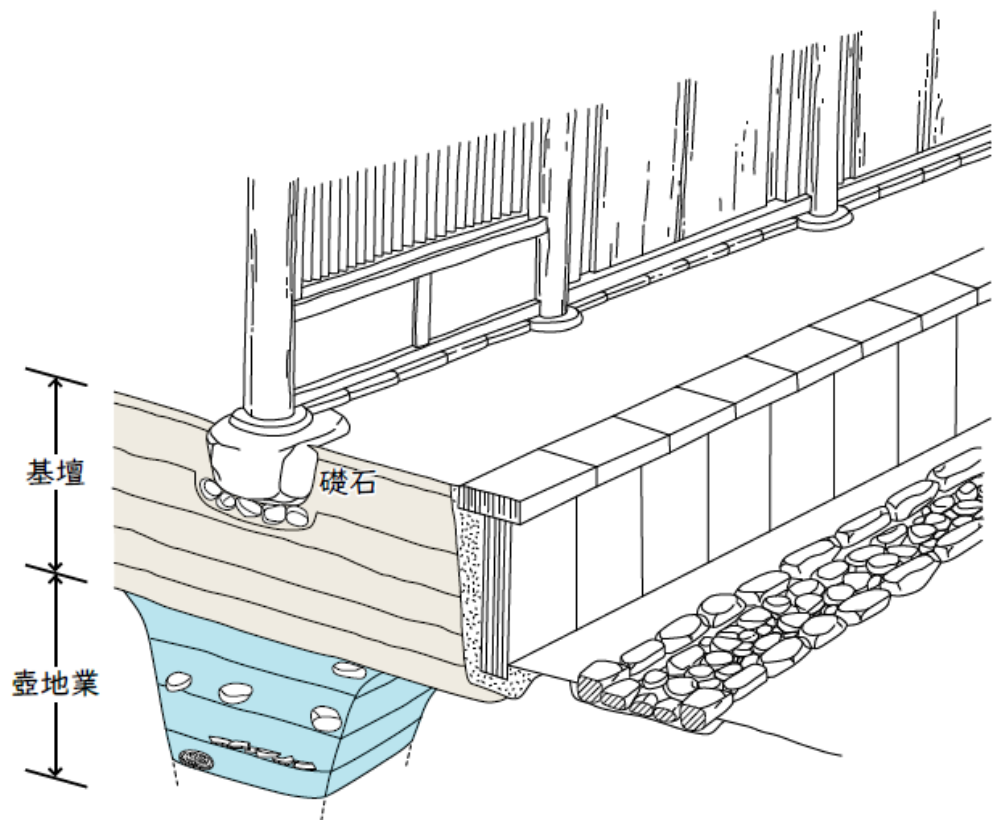
出典：『女帝のいのりー発掘された西大寺と西隆寺ー』展示図録



出典：『女帝のいのりー発掘された西大寺と西隆寺ー』展示図録

●由義寺 下層基壇と似た工法か（総地業）

西隆寺 塔（奈良市） 8世紀後半



出典：第128回公開講演会資料「奈良文化財研究所都城発掘調査部創設60周年記念一よみがえる西大寺金堂院一」



出典：第128回公開講演会資料「奈良文化財研究所都城発掘調査部創設60周年記念一よみがえる西大寺金堂院一」

●礎石位置の下を改良する（壺地業）

西大寺 弥勒金堂（奈良市） 8世紀後半



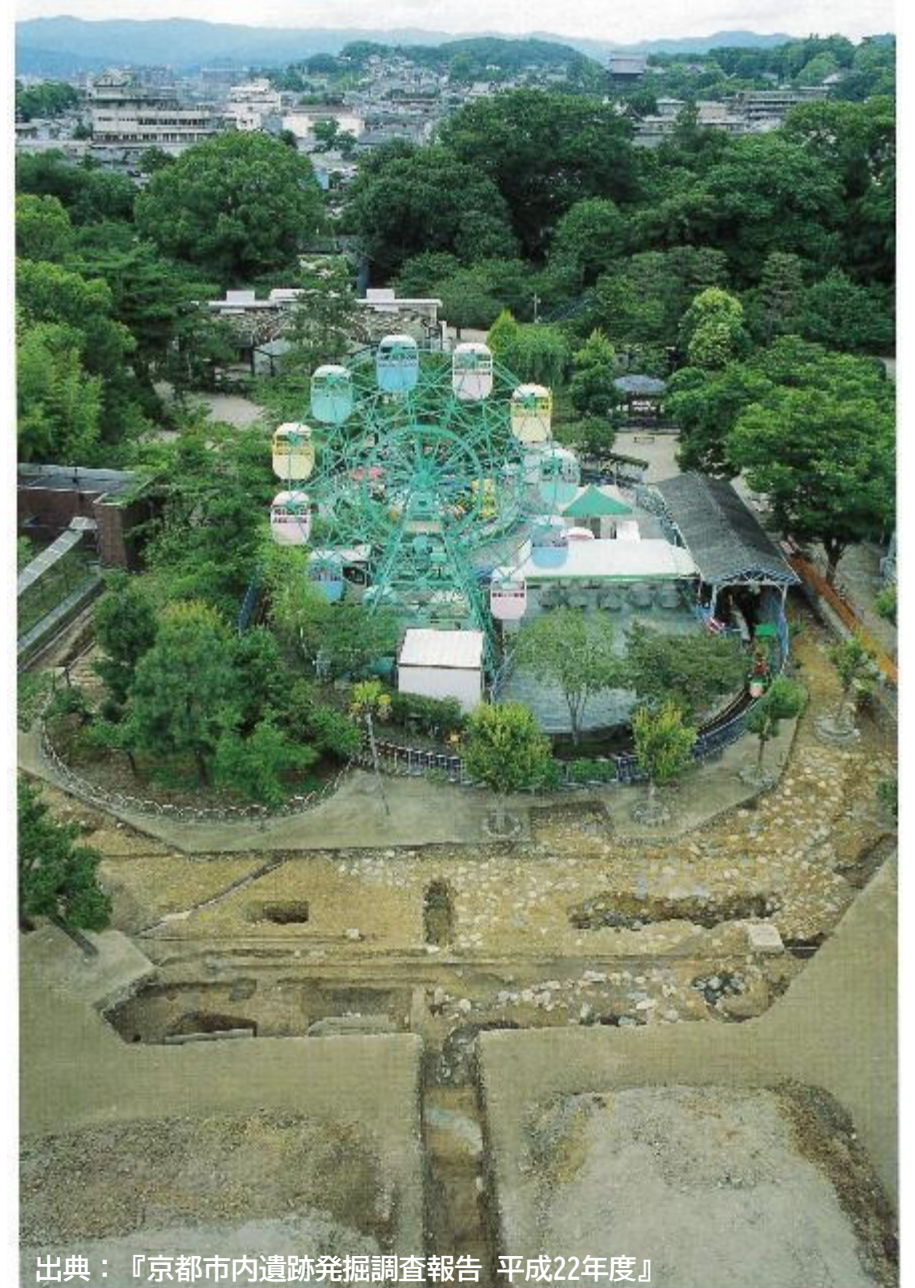
●礎石位置を改良する（壺地業）

史跡西寺跡 塔（京都市） 9世紀中～後半



出典：『京都市内遺跡発掘調査報告 平成22年度』

●石、粘土を入れた土坑を連続して掘る



出典：『京都市内遺跡発掘調査報告 平成22年度』

法勝寺跡 塔（京都市） 11世紀

まとめ

1. 事実

〈下層基壇について〉

- 一辺約17mの平面正方形に復元できる塔基壇と判明
- 基壇構築にあたり、一度、地面を掘り込み、大型の石を入れ、性質の異なる土を交互に突き固めて埋戻す地盤改良を施していた（総地業）
- 基壇東側の裾付近において、残存状態が良好な外装石材が出土している（令和4年調査）
- 掘込地業内から奈良時代中頃以降の瓦が出土している（平成30年調査）

〈上層基壇（由義寺塔）について〉

- 下層基壇と東辺を合わせて造られていた → 伽藍配置を検討する上で重要な発見
- 下層基壇の上面を整地し、その上部に下層基壇の約1.3倍の大きさの基壇を構築していた
- 当初の塔を造り替えて、大きな塔に計画変更した例は他にない

2. 推定

- 下層基壇裾付近の外装石材の出土から、下層塔（＝下層基壇）は一度建っていたか？
- 基壇の拡張において、上層基壇（由義寺塔）の荷重がかかる上部建物部分を下層基壇で補うように施工されたか？
- （A）当初の塔を解体・撤去して大規模基壇に造り替えたor（B）塔建設途中で計画変更し、大規模基壇に造り替えた？
- 下層基壇と上層基壇（由義寺塔）の建立時期にあまり差がない → 建設途中で計画変更が有力？
- 土層堆積状況から由義寺の前身寺院である弓削寺の塔基壇か？
- 基壇構築方法や計画変更など、西大寺と共通する部分あり、西隆寺塔跡とも類似する施工、称徳天皇が建立に関わる寺院にある工法？奈良時代中頃以降の工法？